

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回弘前市健康づくり推進審議会
開 催 年 月 日	令和5年5月30日（火）
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時30分から午後3時00分まで
開 催 場 所	弘前総合保健センター4階 視聴覚室
議 長 等 の 氏 名	弘前市健康づくり推進審議会 会長 井原一成
出 席 者 （ 1 4 名 ）	学識経験のある者：委員 井原一成 委員 古川照美 保健・医療関係者：委員 澤田美彦 委員 磯木雄之輔 委員 佐藤史枝 公共的団体の推薦：委員 福島龍之 委員 斎藤明子 委員 八木橋喜代治 委員 成田津江 委員 村田大六 委員 三上美知子 関係行政機関の職員：委員 齋藤和子 公募委員：委員 阿保ひとみ 委員 野上由芳
欠 席 者 （ 1 名 ）	保健・医療関係者：委員 渡邊康一
事 務 局 職 員 の 職 ・ 氏 名 （ 1 6 名 ）	健康こども部長：佐伯尚幸、健康増進課長：山内恒 健康増進課長補佐：小倉洋幸 健康増進課主幹：澤居吏香子、三浦五月、鳴海悦子、土岐暖子、 今敏行、佐藤康行 健康増進課係長：齋藤恒夫 健康増進課総括主査：長尾厚子、尾崎弘子、山谷友美子、山下絢 子 健康増進課主査：小野めぐみ 会計年度任用職員：成田美奈子
会 議 の 議 題	（1）弘前市健康増進計画「健康ひろさき21（第2次）改定 版」最終評価報告書について （2）弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について （3）その他 ①弘前市健康増進計画「(仮称)健康ひろさき21（第3次）」 の策定スケジュールについて ②令和3年人口動態調査結果（弘前市の概要）速報について （報告）
会 議 結 果	下記会議内容に記載のとおり

<p>会議資料の名称</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回弘前市健康づくり推進審議会次第 ・弘前市健康づくり推進審議会委員名簿 ・資料1 弘前市健康増進計画「健康ひろさき21（第2次）改定版」最終評価報告書について ・資料2 弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について
<p>会議内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 3 事務局職員紹介 4 案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 弘前市健康増進計画「健康ひろさき21（第2次）改定版」最終評価報告書について (2) 弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について (3) その他 5 弘前市健康こども部長挨拶 6 閉会 <hr/> <p>【1 開会】</p> <p>【2 会長挨拶】</p> <p>【3 事務局職員紹介】</p> <p>【4 案件】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 弘前市健康増進計画「健康ひろさき21（第2次）改定版」最終評価報告書について <p>(事務局) 資料1説明</p> <p>(委員) 「2 最終評価の方法」という項目の説明の中で、基準年は、本来は2013年（平成23年）であり、もともと二次計画の最終報告なので基準値と最終評価値を比較するものだけでも、途中（中間評価）で評価指標や目標値が変わったものについては、中間評価の値をベースにして評価することにしたという説明だったので、その解説をここに記載していただければ良い。</p> <p>(事務局)</p>

修正し、記載する。

(委員)

健康寿命の定義について、今回の健康寿命は、日常生活が自立している期間の平均、これは介護保険を利用した数字である。要介護2以上になっていない人。このやり方だと、健康寿命と平均寿命の差は2年位しかない。一方で、健康寿命と平均寿命の差は、男性では9年、女性は12年だとも言われている。大体は、世の中ではこちらの数字を使っていると思われる。今回の定義による「日常生活が自立している期間の平均」、平均寿命まで2歳切る形、この2歳を何か政策を実行して縮めるということはすごく難しいと思われる。それよりも、私たちが普段使っている9年と12年のほうの定義、そちらを使った方がよいと思うが、ただ、おそらく市において、9年、12年の方の健康寿命が計算できないから、今回説明のあった方法を用いたのではないかと考えるが、いかがか。

(事務局)

国で算出している健康寿命は、都道府県単位でしか公表されない。市町村単位では算出されていないので、こちらの計算方法を目安として今回使用している。

(委員)

これを、何か政策を実行して、どのように効果が出ているかという目安にするためには、この数字は基本的には介護認定を受けた人たちから持ってきたという偏りがある。介護認定審査会の数字を見ると、弘前市は介護認定を受けている人は約2割である。この2割という限定された数字を目標にして、いわゆる普通の健康寿命、私たちが思う健康という概念を見るというのはすごく難しいと思う。そのあたりを説明した方がよいと思う。

次に、19ページの「これまでの取組」。市では、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに取り組んでいる。日本でもトップクラスで取り組んでいる。これに関連して、慢性腎臓病に触れていないが、次の対策は慢性腎臓病対策である。市では並行してこの慢性腎臓病予防対策も行っているの、これは前者に含めないで別個に記載した方がよいのではないかと。もう一つ「高血圧重症化予防プログラム」がある。これも他の市町村でほとんど実施していないが、弘前市では率先してやっている。弘前市では独自にこれら

の事業を実施していることがわかるような表記にすると良いと思う。

あともう一つで、13 ページの「これまでの取組」の「1 がん検診等によるがんの早期発見・発症予防」について、法定のがん検診と任意の検（健）診、将来がんにならないための事業等については分けて表記するようにしてほしい。

（委員）

9 ページの「重点課題への取組」のうち、「特に 40・50 代の働き盛り世代において、がん検診受診率が低い」とあるが、どのデータに基づくものか。

（事務局）

「第 2 次改定版」作成時のデータで、市が実施するがん検診の傾向であるので、明示し修正する。

（委員）

分野別の評価のうち、「(1)がん」の「これまでの取組」について、「がん検診受診率の向上」の部分に「受診しやすい体制・環境の整備」として「検診機会の拡充（肺がん検診の個別医療機関での実施）」とあるが、これは未実施ではないか。

（事務局）

未実施であるため、修正する。

（会長）

それでは、委員からの指摘事項を検討・反映し、後日書面で各委員が確認し、意見がある場合は意見を付し承認することとしてよろしいか。

（委員より異議なし）

（会長）

それでは、後日書面により確認し承認とする。

※令和 5 年 6 月 21 日付けで委員に修正版を送付し、委員より意見なく承認された。

（2）弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について

(事務局)

資料2説明

(委員)

被表彰候補者のうち、「W a k u w a k u c l u b」は、4年生が一所懸命地域に来てくれて、老人クラブの人たちが非常に楽しみにしている。生徒さんと一緒に、健康教室、体操をやっているので、被表彰者として適当と考える。それから「弘前医療福祉大学救急救命研究会」であるが、こちらの団体も地域に来て、地域のイベントがあると学生達が健康に関する演劇を行い、みんなに周知する活動を行っているので、被表彰者として大変良いと考える。

(委員)

各団体の活動内容について、市ではどのように確認しているのか。

(事務局)

基本的に申請書の内容や聞き取りのほか、提出された添付資料の活動時の写真、社内規約等で確認している。

(委員)

市民に向けて被表彰者の活動内容を周知する機会をつくると、活動内容が広まり、他の会社や団体などで参考にされるのではないか。

(事務局)

第1回目の昨年度の被表彰者の活動内容については、活動事例集を作成し、市ホームページに掲載している。また、7月に開催される市民の健康まつりにおいてもパネル展示し、周知する。

(会長)

今回の被表彰候補者についても、活発な活動をされていることから、被表彰候補者として了承してよろしいか。

(委員異議なし)

	<p>(会長) 全て了承とする。</p> <p>(3) その他 ①弘前市健康増進計画「(仮称)健康ひろさき21(第3次)」の策定スケジュールについて</p> <p>(事務局) 説明</p> <p>(委員) 評価値の数値間違いを正していただきたいことと、「第3次」に向けた新規取組についてわかるようにしていただきたい。</p> <p>(委員) 次回のスケジュールについて教えていただきたい。</p> <p>(事務局) 7月末には第2回審議会の開催を目指し、骨子案の作成等に取り組む。開催日はあらかじめ余裕を持ったうえで調整させていただきたい。</p> <p>(会長) 以上を持って、本日の案件はすべて終了とする。</p> <p>【5 弘前市健康こども部長挨拶】</p> <p>【6 閉会】</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>・案件の(1)、(2)、(3)①は公開、(3)②は非公開</p>